

広報 まき

1977

1/10

発行/新潟県巻町役場

編集/企画課

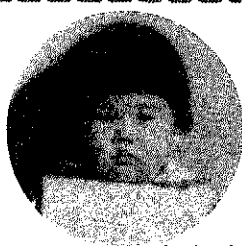
毎月10日・25日発行

第259号



杉山 克博

☆生年月日 四十九年八月十日
 ☆住居所 東六区☆両親の名まえ 勝行(父)節子(母)
 ☆続柄 次男☆名づけ親 父☆名まえの由来 のびのびと育つように☆愛称 ヒロくん☆好物 なめこ、貝のみそ汁



服部 由紀子

赤ちゃん登場

☆生年月日 五十年四月十五日
 ☆住居所 前田☆両親の名まえ 正美(父)セツ子(母)
 ☆続柄 長女☆名づけ親 父☆名まえの由来 すなおな子に育つように☆愛称 ユキちゃん☆好物 果物、あめ

春



迎



新年のごあいさつ



町長 村松次一

町民の皆さん、昭和五十二年の新春を迎えられ、心からおよろこびを申し上げます。

昨年は辰年で、高度成長時の夢はみないにしても、相当期待していたことは確かでしたが、農業面からみても、又観光、商界の動きの上でも、よい年だったとは言われませんでした。

町の行政の上でも苦しい年でありました。

幸い町民各位のご協力を得て、保育園、学校、道路、消防施設、その他各般の予定事業を逐次実施

して参りました。

特に庁舎の増築や、南小学校の工事は、五十二年にも継続される仕事で、町民皆さんのご期待に添うべく頑張っております。

五十二年は、町行政執行の上で昨年以上に苦しい年であることは十分予期しております。

現在五十二年の予算編成にとりくんでおりますが、冗費をできる限り省いて、町民のためになる事業に力を注ぐ方針で詳細に検討してまいります。

今年はい年であります。

巳は蛇で昔から日本では、蛇を嫌う一面と、福の神としたりする一面をもっていたようであり、また巳と云う字は、もともと陽気な字であります。

こせこせせず、予想される苦難をのり越えて、町民皆さんと共に雄雄しく進んでいきたいと存じておりますから、今年も旧に倍するご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

年頭にあたり町民皆さんのご家庭が揃って健康で明るい年であり、ますようお祈りして新年のご挨拶といたします。

年頭のごあいさつ



議長 玉木鹿蔵

昭和五十二年の年頭にあたり、参町議会を代表いたしまして、つつしんで新年のごあいさつを申し上げます。

町民のみならずおめでどうございませぬ。新年は自分自身の心をも一新する契機となつてこそ、またさらに意義があると思ひます。

町民みなさまとともに、それぞれの立場に将来を考え、新しい生活計画をたて、新年をして新しい出発点といたしたいものと思ひます。

昨年は、町民みなさまの絶大なご協力によりまして、参町が今日の段階にいたりましたことは、

北海道旅行をしたい



小熊庄一(福井) M38.1.27生

明治・大正・昭和の時代に生きてこの年になりました。子も孫も世間並みに暮らしているので親として幸せです。昨年の前半は、健康を害してしまつたがそれでも老人クラブや身障者団体の旅行に、十回参加した今年はずいぶん、老人クラブによる北海道旅行に行つてみたい。お

もうひと頑張りを



石田祝子(9区) T6.8.31生

けさまで体もまだ大丈夫だし元氣なうちに、あつちこつち行きたい。この年になると冬は、頭が寒いので今では帽子(ベレー帽)を愛用しています。

大正・昭和・戦前戦後と楽器店の仕事に追われていたうちに、いつのまにか六十一歳の還暦を迎え心細く驚くばかりです。巳年は、昔からお金の神様と言われております。

私も孫が中学一年生になつたのを機会に

新しい感覚で音楽を勉強し健康に気をつけてもうひと頑張りしたいと思います。

今年、ひまを見てゆつくり旅行をしたいと思つ

ゆとりある生活を



桑原重(漆山) S4.5.19生

ています。

昨年は、激動する社会情勢を反映して我が家も寒風が通り過ぎていった一年でした。

呉服店を営んでいる私ですが、今年はそのことを忠実にやりたいと思つております。

大きくはばたかず。

背伸びすることなく。足元をしっかりと見つけて。

大きなことより、小さなことを大事にゆとりある一日一日を笑つて過ごす。

商売を離れての最大の目標は趣味でやっている「書道」が県展に入選することです。

人生レースに参加



八木勝利(3区) S16.12.25生

仕事に本腰を



小出文江(松野尾) S28.9.27生

しかし生きたことの証を求めて少くとも中途でレースを降りることとはしたくない。

今年、私の三回目のあたり年になる。数年前までは「中年」三十歳後半のつもりでいたが、これから「四十歳過ぎ」に訂正しなければならぬ。それにしては、顔の面積は広くなるし、内臓にも疲労が表われてくる。

生涯レースの折返し点にさしかかった訳で、後半をいかに耐えぬくか。趣味を求めて優雅に過ごすには、それ以前の生活基盤がよい。

二十四歳の春を迎えて、私自身のことであつたかと驚いているしだいで。友達は結婚し良き妻・母になつていますが、私はまだまだ結婚する気が沸いてきません。

朝は希望に満ち、昼は努力を重ね、夜は感謝に合掌。この言葉は、以前に赤塚から豆

こづかいを倍に



荒井加代子(嵐山岡崎) S40.1.1生

腐を売りに来るおじいさんから聞かされたものです。おじいさんは、八十歳の高齢にも負けず雨の日も風の日も豆腐を売りに来ます。アアアアこれが仕事の喜びかとつくづく思います。とくに私も今年、天職に全能を尽くして生きたいと思ひます。

巳年生まれと言われてもピンときません。いままでは小学校の最上級生として、下級生にいろいろ教えたりしていましたが、四月から中学一年生になるので下級生に逆もどりです。でも、参北小学校ができて途中から別れてしまつた友達といつしよになるので楽しみにしています。

いまは、ピアノを習っていますが中学生になったらテニスか卓球のクラブに入部したいな。

今年一番の願いごとは、こづかいを倍にもらいたいこととお願ひします。

今年一番の願いごとは、こづかいを倍にもらいたいこととお願ひします。

巳年生れ 抱負を語る



今年、ひまを見てゆつくり旅行をしたいと思つ

監査委員の意見書(要旨抜粋)

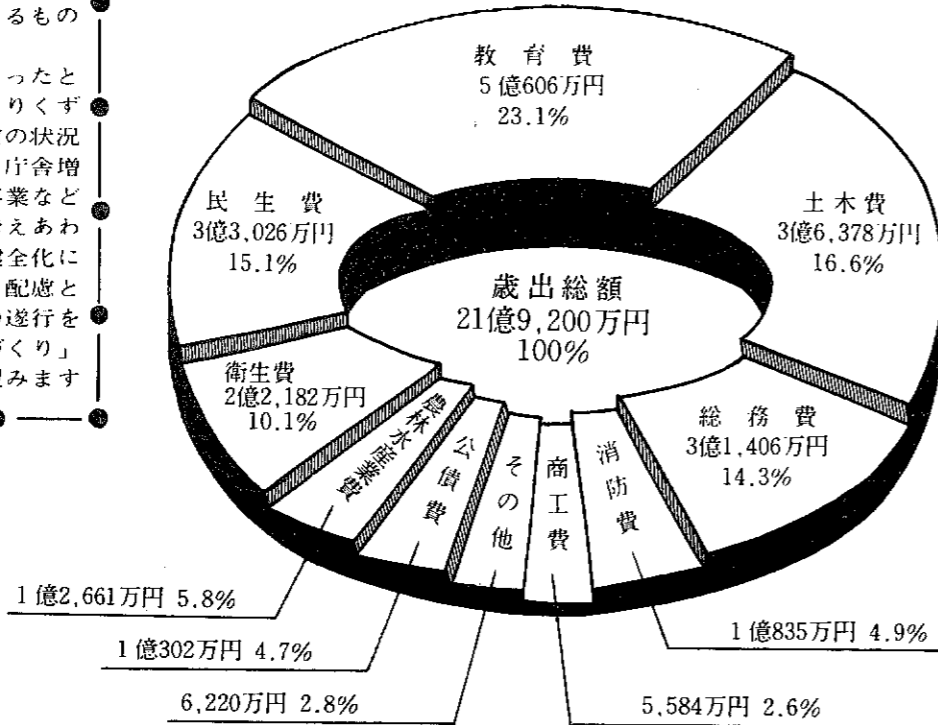
一般会計および特別会計は健全に運営され、特殊な宅地等造成特別会計を除き黒字決算を達成できましたことを喜ぶものであります。

財政的ゆとりが乏しかった昭和50年度において、巻北小屋体の建設、道路整備、都市下水道事業、その他各種の行政需要に対処された町当局の並々ならぬ努力の結果を認めるものであります。

昭和50年度は黒字決算となったとはいえ、財政調整基金のとりくずしを考えると、赤字決算寸前の状況でもあったことや南小学校、庁舎増設、道路整備、都市下水道事業などが予想される昭和51年度を考えあわせると、なお一層の財政健全化につとめられ、今後とも十分な配慮と適切な計画のもとに諸事業の遂行を図られて「明るく豊かな町づくり」のために努力されることを望みます。

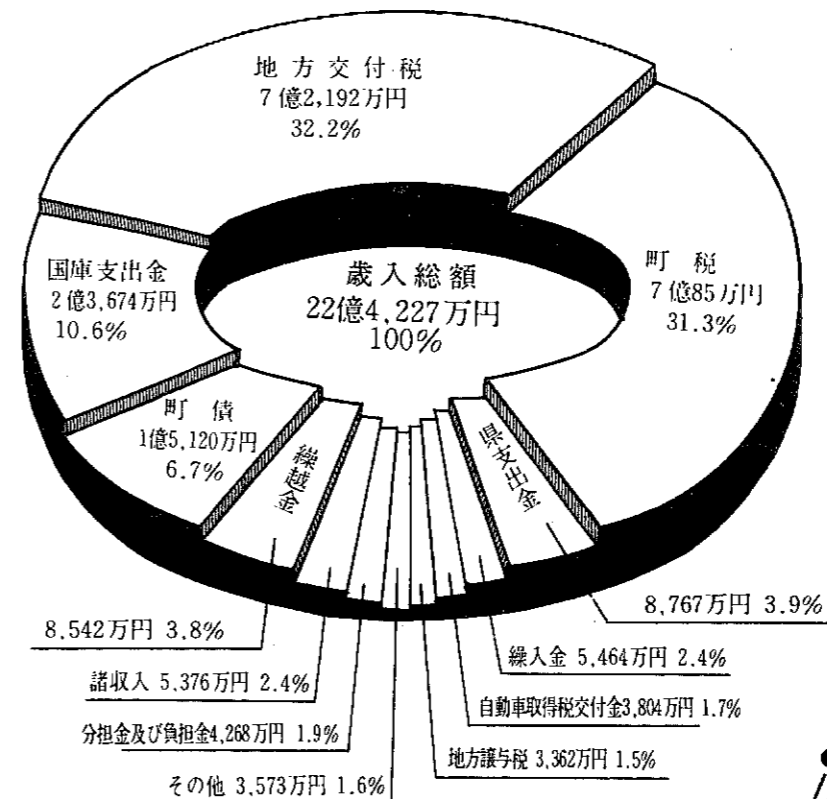
健全な財政

町の台所のあらまし



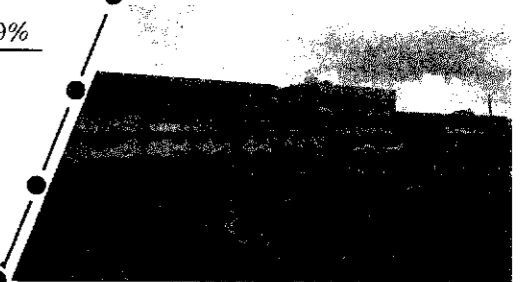
運営を堅持

(50年度一般会計決算)



十二月定例議会で町の家計簿といわれる五十年一度一般会計の決算が認定されました。ここにそのあらましを「ご紹介」します。五十年度は全国的な不況の中にもかかわらず心配された法人税収入が順調な伸びを示した反面、地方交付税が予想外に落ち込んだため、極力経費の節減に努め、昨年度に引き続き黒字決算(五千二十七万円)を達成できました。これからは住民福祉をめざし一層努力いたしますのでみなさんのご理解とご協力をお願いします。

50年度の主な事業



	(単位・万円)
▶ 巻北小新增築及び竹野町小危険改築工事	12,913
▶ 巻北小屋体新築工事	9,991
▶ 巻北小改築工事	394
▶ 町道舗装工事	14,102
▶ 町道側溝護岸工事	1,407
▶ 町道用地購入費	1,383
▶ 町道補修用砂利等購入費	1,394
▶ 排水路改修工事	2,121
▶ 都市下水道事業	4,469
▶ 国、県道路事業費負担金	1,242
▶ 駐車場造成工事	774
▶ 農道補修用碎石購入費	645
▶ 町営グラウンド用地購入費	1,743
▶ 町営プール用地購入費	625
▶ 漆山中学校用地購入費	500
▶ 農業経営近代化事業補助金	1,156
▶ 野菜指定産地生産出荷近代化事業補助金	576
▶ 水産荷捌所新設費補助金	600
▶ 清掃車一台購入費	365
▶ 災害復旧工事	1,271
▶ 防火貯水槽新設工事	284



土地 195,775㎡



建物 49,937㎡

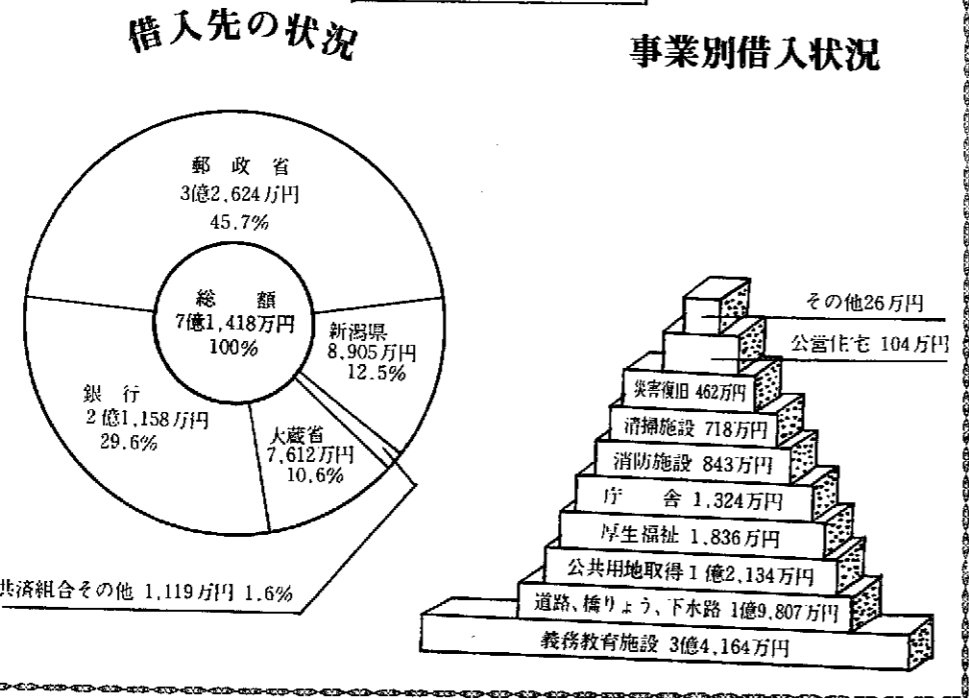


有価証券 500万円



出資金 932万円

町債のあらまし

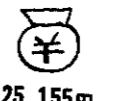


1人当りに使われたお金



78,678円

1人当たりが納めた税金



25,155円

教育費	18,164円
土木費	13,057円
民生費	11,854円
総務費	11,272円
衛生費	7,962円
農林水産業費	4,544円
消防費	3,889円
その他	7,934円
その他	369円
軽自動車税	312円
電気税	927円
たばこ消費税	2,154円
固定資産税	8,411円
町民税	12,982円

12月定例議会

補正予算に4,060万を追加
報酬・給与の改正など可決

十二月定例議会が、二十一日から二十四日まで開かれました。昭和五十一年度一般会計補正予算、特別職の給与、議員報酬などのアップ、町立保育園条例の一部改正など十八議案が提出され、原案通り可決されました。また、請願三件、陳情二件も採択され、報告一件、議員提出一件も原案通り決まりました。ここで、主な議案を紹介いたします。

◆各会計の決算を認定

五十一年度の一般会計をはじめ、各会計の決算が認定されました。

◆議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正

五十一年一月一日から議長月額十萬六千円(九萬六千円)に、副議長月額八萬八千円(七萬七千円)に、常任委員長月額八萬一千円(七萬七千円)に、議員月額七萬七千円(六萬九千円)にそれぞれ改正しました。カックコ内は旧報酬額

◆特別職の給与に関する条例の一部を改正

五十一年六月一日にさかのぼり町長月額三十六萬五千円(三十四

◆教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正

五十一年六月一日にさかのぼり月額二十七萬二千円(二十四萬八千円)に改正しました。カックコ内は旧給与額。

◆職員の給与に関する条例の一部を改正

四月一日にさかのぼり給与を改正し、給料で平均六・九八パーセント(定昇分含む)のアップとなった。

りました。

◆昭和五十一年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ四千五百九十七万五千円を追加し、予算総額は二十四億六千四百九十一万一千円になりました。

青年の喜び・悩み
深夜まで語り合う
県外研修レポート



巻町連合青年団長 阿部富栄

十一月二十日、朝もやの冷えびえとした巻駅前から我々は、各地区団員に見送られ、期待と不安な心をいだいて、一路石川県珠洲市へバスは走る。珠洲市に到着したのは、午後四時三十分頃で十二時間の長旅であった。近代的な公民館に迎えられた我々は、珠洲市青年団に盛大な「受入式」で歓迎をうける。珠洲市と巻町の青年団活動の内容、問題点、喜び、悩み等、我々の若いエネルギーは時間を忘れて深夜まで語り合う。住む場所は、違っても青年としての生き方、青年団としての基本的な理念は同じである。珠洲市は、人口二万九千人で巻町と同程度の街である。産業、経済、生活水準は巻町が良いのではないだろうか。

科学技術に負う年

巻町農業振興協議会
西村欣策

一、年回り 「巳年」といえば古い人たちはすぐに思い出すのが「作柄」である。昔から巳年は、不作だといわれているからである。科学万能時代に何と古めかしいことか、といわれるだろうし、新

年そうそう縁起でもないという方もいるであろう。ところが、現在の進歩した科学のなかで太陽の黒点説からしても冷害年次といわれるものは、十一年周期が常識となっている。人間が長い生活のなかで暦を作

苦情の

上手な申出は

▽消費者コーナー△



商品購入後の苦情が、後をたちません。円満な解決は、できるだけ早く現物を添えて購入時から苦情発生までの状況を詳しく表示、ラベル、領収書、契約書を添えてください。なお、公民館内に苦情相談室を設けてあり毎週木曜日には、相談員2名が消費者のみなさんをお待ちしています。(午後1時から3時まで)

★商品の上手な選び方

- (1)表示やマークで品質をみきわめて(繊維製品には絵表示がついています)
- (2)比較研究し、計画買いを
- (3)食料品は新しいものを
- (4)不良品には、感情的にならず率直に苦情を申し出る

★繊維製品の絵表示

家庭用品品質表示法の一部改正により必ず繊維製品に絵表示を取り付けることになりました。この絵表示は、色落ち、色変り、縮みなど一定の基準に合格したものでないと表示ができなくなりました。

ななまの広場

①9 巻バスケット
ボールクラブ

会長 中村治夫

私たちのクラブ員は、総勢十五名で多種、多様の職業ですがチームワークは抜群である。当初は、地域青年の親睦や体力技術の向上を目的とし、結成されたからはや十年を迎えました。結成当時は、部員も少なく活動も低調。でも持ち前のフットで乗り切って来ました。

現在練習は、浜松中、巻中の体育館を借り夏期は週一回、冬期は週一回の予定で練習をしています。当クラブは、県協会に加盟し各大会にも参加して優勝を目指しています。

みなさん、バスケットボールをしたことの無い方、興味を持っていて方、運動不足に悩んでいる方、どんだん申込んで下さい。部員の半数は社会に出てから始めた人です。

みんなで楽しくやりましょう。申込みは、事務局まで

事務局 仁商 高橋和男

☎(6)2051

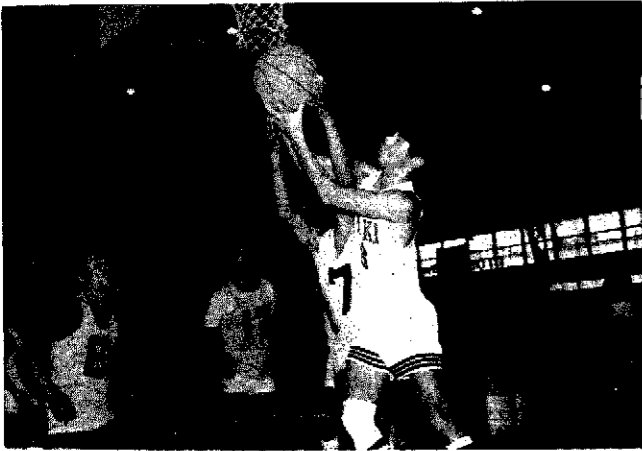


作はどんなに苦しいものか、というのを身をもって体験させられたのである。それで農業の本命は、たとえ生産調整の時代でも増産、増収を離れられない。しかも、近代社会の流通改善を基幹にした経済活動に力をそがなければならぬのである。たまたま、日本は国内的にも、国際的にも厳しい条件がめぐる押しに迫って、大転換が行われなければならない時期にある。それには、農業の問題をさしおいて成り立たないものである。しかも、日本の農業整備はいままでの掛け声だけでなしに実りあるものにならなければならないのである。そのためには、農業の内部から盛りあげることが必要になった。今年、こうした意義のある年明けなのである。

十一月二十日、朝もやの冷えびえとした巻駅前から我々は、各地区団員に見送られ、期待と不安な心をいだいて、一路石川県珠洲市へバスは走る。珠洲市に到着したのは、午後四時三十分頃で十二時間の長旅であった。近代的な公民館に迎えられた我々は、珠洲市青年団に盛大な「受入式」で歓迎をうける。珠洲市と巻町の青年団活動の内容、問題点、喜び、悩み等、我々の若いエネルギーは時間を忘れて深夜まで語り合う。住む場所は、違っても青年としての生き方、青年団としての基本的な理念は同じである。珠洲市は、人口二万九千人で巻町と同程度の街である。産業、経済、生活水準は巻町が良いのではないだろうか。

しかし、青年団活動は、都市流出に伴って過疎化する珠洲市の現状をとらえた青年団組織は目を見張るものがある。豊かな郷土を建設する原動力は青年団の活動を通して郷土愛、友愛、敬愛をもって珠洲市発展のために青年の力を結集している。数十年前、先輩諸氏が苦闘の中から新しい青年団のあり方を追求し続け、現在我々に受け継がれている。このうえに立ってこの先我々が進むべき道は、何をすべきかを考え「青年の生活を高める」の原点にかえて、今一度反省しなければならぬであろう。最後に、この研修にあたり町、教育委員会、公民館から多大なご支援をいただき、ありがとうございました。

り、十二年目に回って来る「年回り」という言い方をした。そこで、科学の知識と生活の中の「感」とでは、まことに近いことになる。二、冷害年次 こんな理屈を年のそうそうから並べては、申しわけないが「農業はあくまで生産を安定させ、増収をしなければ成り立たないのだ」という理由のうえに立ってのことである。それで、年頭そうそう今年の作柄は?と思いつくのである。その第一番目に年回りなどが、頭に浮んでくる。それがたまたま冷害年次の昨今と「巳年」とが一致することになったのである。この二重に重なり合った昭和五十一年こそ農業にとつては、近代的な科学技術を十分に使って、立派な喜びの年にかえなければならぬからである。科学は、人間が開発した自然解明の理法である。この理法は、自然とともに人間の幸せにつながるように使わなければならない。三、農業の本命 昨年は、農村にとって大きな試練の年であった。農産物の価格、つても農村民は、死にもし、生きもする。一方、この高度な生活を支え発展した経済社会に生きるには、不



お知らせ

★みがき丸太の 品評会と販売

(1)品評会 ▶期日 52年1月21日午前9時
▶場所 福井「峰岡森林組合」▶出品物 スギ、ヒノキおよび広葉樹とし垂木、床柱、桁、角丸太その他かざり柱の利用に適するもの。▶出品物の取扱い。当日の午前9時までに搬入する▶申込み 峰岡森林組合へ開催3日前まで申込むこと (2)販売 出品物の販売は、22・23日の両日とも午前9時以降購入者と直接現物の引き渡しを行う。

★52年度農業教育センター 専攻科生を募集

1. 募集人員 約40人
2. 修業年限 1年
3. 専攻部門 稲作、野菜作、酪農(肉用牛を含む)養豚
4. 応募資格 次のいずれかに該当する者
(1)高等学校卒業または卒業見込みの18歳~22歳までの者
(2)前項と同程度の学力があると認められる者
5. 願書受付 昭和52年1月10日~1月28日(当日消印有効)
くわしくは、新潟県農業教育センター研修課(巻町12区)または役場農政課へお問い合わせください。

作業信電

▶日時 1月19日9:00~13:00▶対象区域 1・2・4区の一部
▶日時 1月28日9:00~13:00▶対象区域 4・5・7・8・9・10・13区の一部

善 意

社会福祉に役立ててほしいと、次のみなさんからご寄付がありました。
▶外山文浩くん(13区)から4,600円 ▶山県修也さん(千葉県)から3,000円 ▶喫茶ポニー(5区)から24,000円 ▶頓所敏男さん(並岡)から13,500円 ▶長谷川マサさん(1区)から1,000円

うぶごえ

姓 名	出生年月日
松本 元	11.9
鈴部 桂	11.12
阿高 山	11.13
吉二 真	11.14
田原 晶	11.15
笹川 奈	11.15
島津 佳	11.17
五津 光	11.18
高岡 幸	11.19
阿部 久	11.20
渡辺 幸	11.22
樋浦 繁	11.22
海藤 麻	11.23
荒山 雅	11.25
桑田 則	11.25
篠本 洋	11.26
赤坂 直	11.27
田石 理	11.27
石谷 小	11.28
長和 暢	11.28
海島 雄	11.29
田山 美	11.29
早中 史	11.30
坂川 重	11.30
石沢 水	12.2
渡辺 康	12.2
伊丹 正	12.2
伊奇 辰	12.2
藤利 子	12.3
子央 豊	12.3
津江 里	12.3
里子 惠	12.4
中川 弘	12.6
田正 宏	12.8
沢康 正	12.9
丹美 子	12.9
伊男 利	12.11
藤雄 利	12.12
	12.13

(11月21日~12月20日届け出)

姓 名	年齢	区 名
元 志	39	岡
廣 治	51	比
正 強	17	沢
健 一	29	山
義 男	39	比
津 務	79	区
文 男	80	木
勇 清	80	岡
清 稔	89	山
一 司	67	地
三 男	67	区
福 雄	87	山
孝 博	87	屋
信 博	73	町
博 健	70	堀
均 忠	70	山
武 武	70	区
矢 雄	10	区
勝 忠	9	区
忠 保	10	区
誠 一	6	区
勉 和	6	区
昇 郎	3	区
三 志	13	区
高 繁	13	区
清 雄	13	区
康 一	1	区
正 富	1	区
士 男	4	区
浅 雄	4	区
弘	4	区

おくやみ

姓 名	死亡年月日	年齢	区 名
金子 芳	11.15	39	堀
平原 枝	11.21	51	山
齊藤 厚	11.22	17	団
笠原 一	11.23	29	郷
村越 彦	11.24	39	上
土田 喜	11.25	79	山
本間 与	11.26	80	区
土田 興	12.1	80	区
長谷川 清	12.3	89	尾
小川 初	12.3	67	岡
高島 枝	12.4	67	浜
篠原 ト	12.6	87	前
永井 シ	12.9	62	区
館井 ジ	12.15	85	区
青木 文	12.17	73	区
八木 友	12.18	70	角
高橋 新	12.18	68	田
北原 す	12.18	53	区
河野 メ	12.20	87	区

(11月21日~12月20日届け出)

外 科

15日 本間医院 ☎分水(7) 2350

16日 県立吉田病院 ☎吉田(2) 5111

23日 巻病院 ☎(2) 3111

30日 柳原医院 ☎分水(7) 3128

1月休日救急病院

内 科

15日 古寺医院 ☎(2) 2016

16日 巻病院 ☎(2) 3111

23日 斎藤医院 ☎(2) 2056

30日 高木医院 ☎(2) 2208

1月の納税

町民税 第4期分

保険税 第4期分

納期限 1月31日